

# がん × shiwase

「がん」と「shiwase」をテーマに語り合おう

## Shiwase Symposium 2022

開催日時

2022

3.19 土

19:30 - 20:50

オンライン  
(Zoom Meeting) にて開催



がんを経験したからこそ、  
今日と言う一日を、大切に、豊かに、shiwase に生きる、  
ウェルビーイングを感じる、  
そんなことができるのかもしれない。  
たとえばがんだけではなく、病気になったり、災害にあったり、  
不安、心配、悲しみ、怒り、  
そういった自分の気持ちと、どう向き合えばいいのか、  
みなさん、ぜひ一緒に考えてみませんか

- 主催 がんサバネット (NPO 法人日本サバイバーシップネットワーク)
- 共催 慶應義塾大学「からだ館」
- 登壇者 高橋 都 (NPO がんサバネット代表理事/医師)  
秋山 美紀 (NPO がんサバネット副代表理事/慶應義塾大学環境情報学部教授)
- モデレーター 成田 実子 (NPO がんサバネット会員/株式会社アプリシエ)
- 参加無料 どなたでもご参加いただけます
- 参加方法

### <事前参加登録>

申し込みフォーム 2022年3月17日20:00締切

<https://jcsurvivorship.net/shiwase2022/>

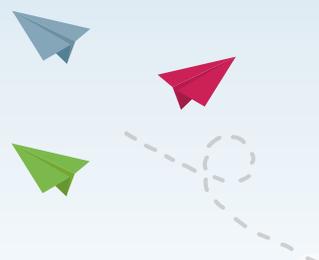
3月18日にZoomURLをメールでお送りします



### <当日参加の方>

開催日当日にシンポジウムページをご覧ください

<https://shiwasesymposium.com/2022/workshop/ws008/>



# shiwase シンポジウムとは

2017年にスタートし、今年で6回目の開催となる「shiwase シンポジウム」(主催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 ウェルビーイングリサーチラボ、武蔵野大学 しあわせ研究所、実幸委員会 共同実幸委員長 前野隆司・西本照真)。

どなたにも気軽に参加いただき、少しでも日常生活にウェルビーイングが浸透して欲しいという主催者、出展者の想いから、「shiwase シンポジウム 2022 in 国際幸福デー」は、全企画、参加費無料で開催されます。

がんサバネットは、この企画に賛同し、ワークショップを出展することにいたしました。

## 登壇者紹介



高橋 都 (たかはし みやこ)

NPO法人日本がんサバイバーシップ代表理事  
岩手医科大学医学 客員教授  
東京慈恵会医科大学医学 客員教授  
国立がん研究センター客員 研究員

一般内科医として10年勤務後、東京大学大学院 国際保健学を経て、複数の大学の社会医学系教員として勤務。2013~20年に国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援部長として研究や情報発信に取り組む。この間、2017年に胆管がんの夫を自宅で看取る。定年退職後 NPOがんサバネットを設立。



秋山 美紀 (あきやま みき)

NPO法人日本がんサバイバーシップ副代表理事  
慶應義塾大学環境情報学教授  
慶應義塾大学「からだ館」プロジェクトリーダー  
社会福祉士  
中央社会保険医療協議会公益委員

家族のがん経験をきっかけに保健医療福祉をつなげる研究と実践の道に入る。専門はコミュニティヘルスとヒューマンサービス山形県鶴岡市では図書館を拠点にした「からだ館」にて情報サポートやがん患者コミュニティの運営を約15年継続。自身もがん経験者。

## モデレータ



成田 実子 (なりた じつこ)

がんサバネット正会員  
株式会社アプリシエ 代表取締役  
shiwaseシンポジウム実幸委員

1996年に Webデザインを主業務として起業。以来、教育機関や医療機関を中心に Web関連サービスを提供。ドローン撮影や写真教室の運営も行う。オンラインサロンのウェルビーイング大学に所属。

